



取扱説明書

DMZ365

DMZ365BK

2DIN CD/MDセンターユニット

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

はじめに

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
ご確認事項	8
取扱上のご注意	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
CDまたはMDの演奏について	9
MDについて	9
CDについて	9

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン	10
外部機器を操作するボタン	12
操作の概要	13
ディスプレイ表示	15

■基本の操作

電源を入れる	16
ソースを選ぶ	16
音量を調節する	16
重低音を増強する (マグナベースEX機能)	16
音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能) ...	17
時刻を合わせる	17
表示(メイン/タイトル/時計)を 切り換える	18
タイトルをスクロールさせる	19
DSPメニューを選ぶ	19
DSP効果を調整する	20
Zエンハンサー量を調整する	20
音質を調整する(バス/トレブル)	21
バランス/フェダーを調整する	22
パネルの照明色を設定する	23

■ラジオ放送を聴く

ラジオを選ぶ	24
受信バンドを切り換える	24
自動メモリーする (オートストア機能)	24
プリセット選局する	25
プリセットメモリーする	25
自動選局する(シーク選局)	25
手動選局する(マニュアル選局)	25
放送を確かめる (プリセットスキャン)	26
特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)	26

■CD/MDを聴く

ディスクを入れる	27
ディスクを取り出す	27
すでに入っているディスクを聴く	28
曲を選ぶ	28
演奏を止める(一時停止する)	29
早送り/早戻しする	29

最初の曲から聴く(トップ機能)	29
いろいろな演奏(スキャン/ リピート/ランダム演奏)	29

■グループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする	30
グループを切り換える	30
いろいろな演奏(グループスキャン/ グループリピート/ グループランダム)	30

■タイトルをつける

タイトルを入力する	31
イージーインプットをする	33
タイトルを削除する	33

■設定を変更する(アジャストモード)

ディスプレイ設定の選びかた	34
スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)	35
メッセージ入力を設定する (MSG INPUT) ...	35
タイトルスクロール方法を 設定する(AUTO SCRL)	35
ディスプレイ照明を設定する (DIMMER) ...	35

その他の設定の選びかた

ボタン操作時のピープ音を 設定する(BEEP)	36
チューナーエリアを設定する (TUN AREA) ...	37
TVエリアを設定する(TV AREA)	37
TV受信時の主音声/副音声を 設定する(MAIN/SUB) ...	38
TVダイバーシティーを 設定する(TV DIVER)	38
携帯用オーディオの入力レベルを 設定する(AUX SENS)	38
システムをチェックする (SYS CHECK)	38

外部機器の操作

■CD/MDチェンジャー/iPod BBを操作する

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/スキャン 演奏/リピート演奏/ランダム演奏』は、CDと 同様の操作です。「CD/MDを聴く」(28～ 29ページ)をご覧ください。	
チェンジャー/iPod BBを選ぶ	39
聴きたいディスクを選ぶ	39
いろいろな演奏(ディスクスキャン/ ディスクリピート/ ディスクランダム演奏) ..	40

■テレビを見る

※『自動選局/手動選局/プリセット選局/プリ セットメモリー/自動メモリー』は、ラジオと 同様の操作です。「ラジオを聴く」(24～26 ページ)をご覧ください。	
TVを選ぶ	41
受信バンドを切り換える	41
ビデオを見る	41

■その他の外部機器を操作する

携帯用オーディオを聴く (AUX)	42
携帯用オーディオの接続のしかた	42

その他

システムアップについて	43
CeNETケーブルについて	43
故障かな?と思われたら	44
エラー表示について	45
仕 様	46
アフターサービスについて	47

主な特長



■iPod®コントロール機能(iPod BB接続時)

- iPodを別販のCeNET iPodインターフェースボックス(EA-1251A)を使用して接続すると、iPodに記録されている曲をコントロール可能
- ※iPodは米国および他の国々において登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

■メッセージインフォメーション機能

- スクリーンセーバーとしてお好みに合わせてディスプレイに表示可能

■MDLP再生機能

- 本機は、2倍モードで160分、4倍モードで320分もの連続再生ができる(80分MD使用時)MDLP再生機能を搭載しています。
- グループ編集MD再生機能

■バリアブルカラー機能

- RGBカラーのLEDにより、フロントパネル全体を728色にカラー調整可能(12色のプリセットカラーと3色のユーザーメモリー付き)

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MDプレーヤー部

- CDテキスト表示が可能
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■Z-エンハンサープラス/DSP機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITE、の3パターンの音質効果をメモリーし、お好みの音質を即座に設定できます
- 2バンド(LOW/HIGH)のパラメトリックイコライザーにより周波数帯域毎に、お好みの音質に調整することが可能です
- 5種類のベーシックパターンから選べるデジタルサウンドプロセッサー(DSP)機能

■タイトル入力/表示機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名、グループ名または曲名を表示

■携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- AUX入力端子(RCA)をフロントパネルに装備し、ポータブル機器などの接続を間便化

■CeNET(Clarion Entertainment Network : シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。インダッシュTV、TVチューナー、CDチェンジャー、MDチェンジャー、iPod BBが操作できるコントロール機能
- チェンジャーは、合計2台まで接続可能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…
火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない…



感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする…



電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…



火災の原因となることがあります。

- 本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…



専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

- **COMPACT disc** または **COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT** マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

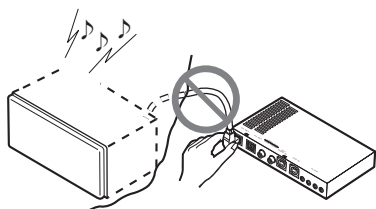
- CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

- **MiniDisc** マークのついたMDをご使用ください。

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

- 本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行うと、故障の原因となります。



- CeNET 接続ケーブルの最大配線長は、20m以下 (CeNET 分岐ケーブル CCA-519 含む) です。配線長が20mを越えると動作不良の原因となります。

商品イラストについて

本書に描かれている商品イラストは、簡明化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字やパネル面の模様を一部省略しています。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部 (アクリル部品) の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(45ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

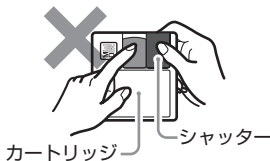
CDまたはMDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

MDについて

■取扱上のご注意

- 直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。
- MDのシャッターを手で開けないでください。



- ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。
そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

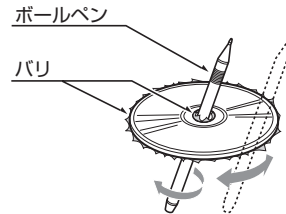
■お手入れ

- カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDについて

■取扱上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- 印刷面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン

COLOR

[COLOR]ボタン

- マルチカラーの表示色を切り換えます。
- ユーザーカラー選択時に押し続けると、カラー調整モードになります。

DSP

[DSP]ボタン

- DSPモードを選択します。

Z-EHCR+

[Z-EHCR+]ボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。

ダイレクトボタン (1~6)

- ラジオ時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

1 SCN

[SCN]ボタン

- CD/MD時に、約10秒間ずつスキップ演奏します。

2 RPT

[RPT]ボタン

- CD/MD時に、繰り返し演奏します。

3 RDM

[RDM]ボタン

- CD/MD時にランダム演奏をします。

■POWER



[SRC]ボタン

- 電源を入れ、各ソース切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。

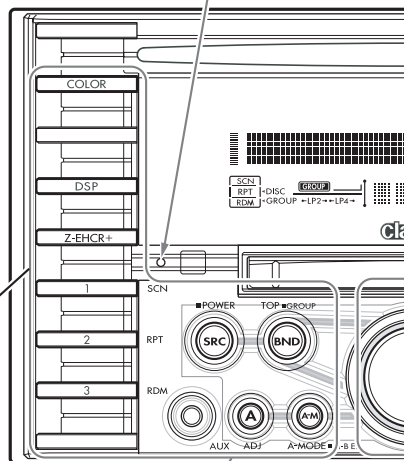
TOP ■GROUP



[BND]ボタン

- ラジオ時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局が手動選局に切り換えます。
- CD/MD時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- グループ編集MD再生時は、押し続ける(約1秒間)とグループ機能をON/OFFします。

リセットスイッチ



AUX

AUX入力端子

携帯用オーディオ機器を接続します。



ADJ

[A]ボタン

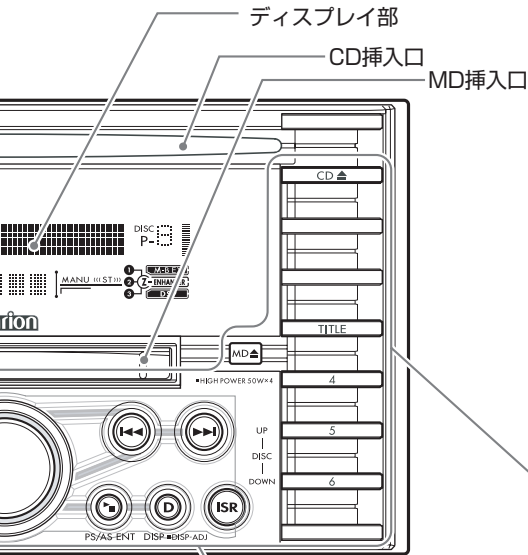
- 表示系以外の設定を変更するときに使います。



A-MODE ■M-B EX

[A-M]ボタン

- 音質とバランス/フェダーを調整します。
- 押し続けると(約1秒間)マグナベースEX機能をON/OFFします。



プレイ/ポーズ(⏮)ボタン

- ・ラジオ時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- ・CD/MD時は、演奏の一時停止をします。

D [D]ボタン

- ・ディスプレイ表示を切り換えます。
- ・押し続けて(約1秒間)表示系の各種設定や調整をするときに使います。
- ・4秒間押し続けると、ディスプレイ部の表示が消灯します。

ISRボタン

- ・再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

CD ▲

[CD ▲]ボタン

- ・CDをイジェクトします。

MD ▲

[MD ▲]ボタン

- ・MDをイジェクトします。

TITLE

[TITLE]ボタン

- ・ラジオの名称や、CD時のディスクタイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。
- ・押すとユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

4 ~ 6

ダイレクトボタン(4~6)

- ・ラジオ時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

UP | DISC | DOWN 5

6

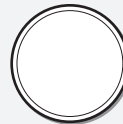
[UP]、[DOWN]ボタン

- ・グループ編集MD時にグループを切り換えます。



サーチ(◀◀、▶▶)ボタン

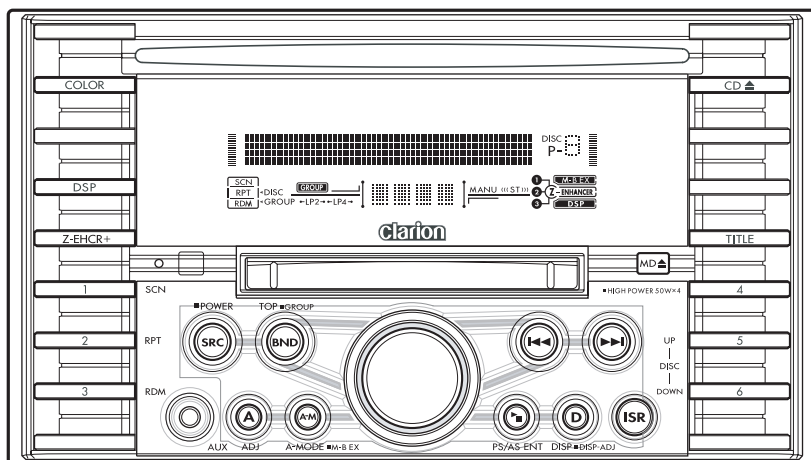
- ・ラジオ時は選曲に使います。
- ・CD/MD時には選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



[VOLUME]ノブ

- ・音量を調整します。
- ・各種調整にも使います。

外部機器を操作するボタン



ダイレクトボタン

- TV時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

[SCN]ボタン

- CD/MDチェンジャー時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ※iPod BB 時には機能しません。

[RPT]ボタン

- CD/MDチェンジャーやiPod BB時に、繰り返し演奏します。

[RDM]ボタン

- CD/MDチェンジャーやiPod BB時にランダム演奏をします。

[SRC]ボタン

- 押して電源を入れ、押し続け(約1秒間)で電源を切ります。
- ソースを切り換えます。

[BND]ボタン

- TV時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局が手動選局に切り換えます。

TITLE

[TITLE]ボタン

- TV局の名称や、CDチェンジャー時のディスクタイトルの入力/削除、MDチェンジャー/iPod BB時のタイトルスクロールなどに使います。



プレイ/ポーズ(▶)ボタン

- CD/MDチェンジャーやiPod BB時に、演奏の一時停止をします。



[D]ボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けて(約1秒間)表示系の設定や調整に使います。



サーチ(◀◀, ▶▶)ボタン

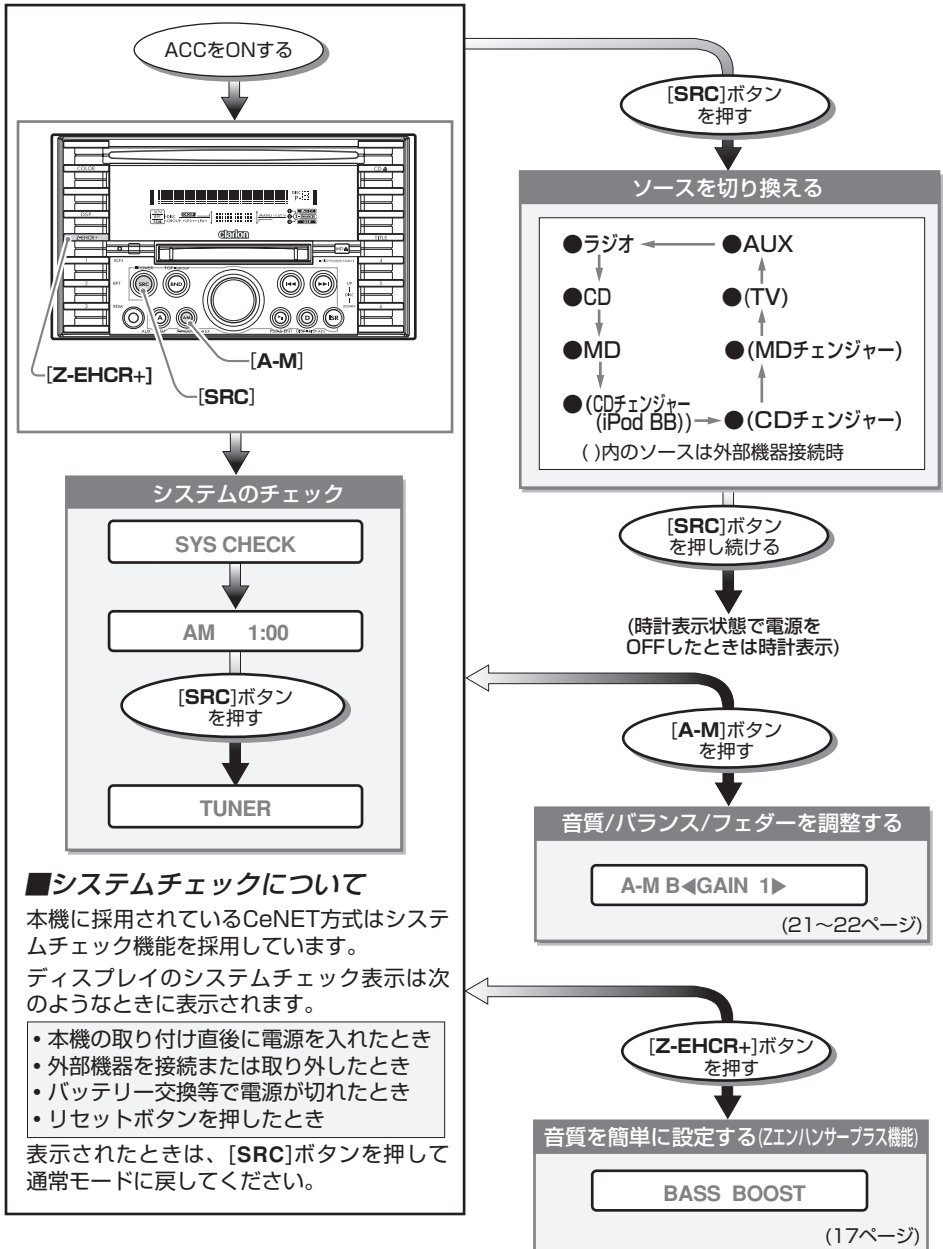
- TV時は選局に使います。
- CD/MDチェンジャーやiPod BB時には選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



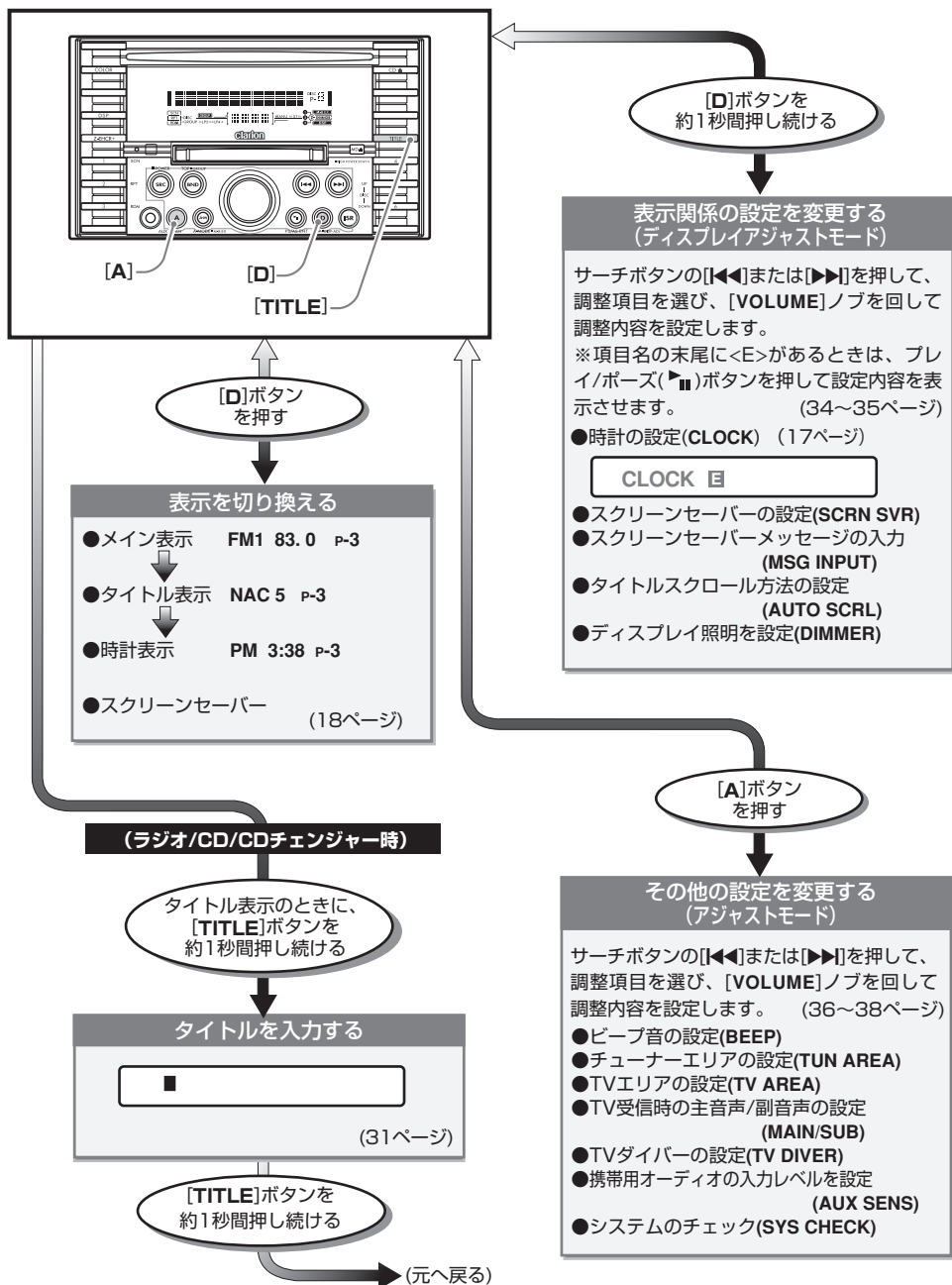
[UP]、[DOWN]ボタン

- CD/MDチェンジャーやiPod BB時に、ディスクを切り換えます。

操作の概要

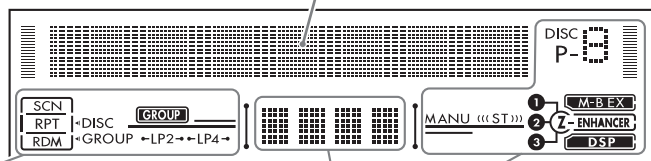


操作の概要(つづき)



ディスプレイ表示

タイトル表示部



・演奏状態に応じて点灯

- SCN** : スキャン演奏時
RPT : リピート演奏時
RDM : ランダム演奏時
DISC : ディスクスキャン/ディスク
 リピート/ディスクランダム
 /タイトルリピート演奏時
GROUP : グループスキャン/グループ
 リピート/グループランダム
 演奏時
GROUP : グループ機能ON時
LP2 : LP2モードMD再生時
LP4 : LP4モードMD再生時

- P** : プリセットチャンネル表示
DISC : チェンジャー時のディスクNO.
MANU : マニュアル選局設定時に点灯
ST : ステレオ受信に点灯
M-B EX : マグナベース機能ON時に点灯
Z-ENHANCER : Zエンハンサー選択時に点灯
DSP : DSP 選択時に点灯

本機
の
操
作

タイトル表示部

・メイン表示選択時の表示

- FM1 79.5**
 : FMバンド名と受信周波数
TV 8ch
 : TVのバンド名と受信チャンネル
01 T03 00:00
 : CD/MD時のグループNo.[トラックNo./
 ファイルNo]/ 演奏時間表示
T 03 00:00
 : チェンジャー時のディスクNo./ファ
 イルNoと演奏時間表示

・演奏選択時に約2秒間表示

(CD再生時)

- TRACK SCAN** : スキャン演奏
TRACK RPT : リピート演奏
TRACK RDM : ランダム演奏

(CD/MDチェンジャー/iPod再生時)

- TRACK SCAN** : スキャン演奏
TRACK RPT : リピート演奏
TRACK RDM : ランダム演奏
DISC SCAN : ディスクスキャン演奏
DISC RPT : ディスクリピート演奏
DISC RDM : ディスクランダム演奏

ソース名表示部

ソース切換時に2秒間表示します。

- TUNE** : ラジオ
CD : CD
MD : MD
CDC1~4 : CDチェンジャー
 ※iPod BB接続時
CDC1 : CDチェンジャー
 (iPod BB)
CDC2~4 : CDチェンジャー
MDC1 : MDチェンジャー
TV : TV
AUX : AUX

タイトル表示部(つづき)

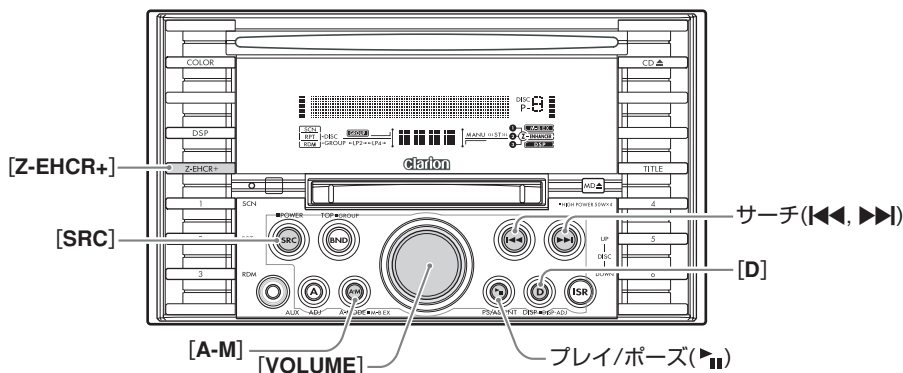
(グループ編集MD再生時)

- GROUP SCAN** : グループスキャン演奏
GROUP RPT : グループリピート演奏
GROUP RDM : グループランダム演奏

・その他の表示

- NO DISC** : ディスクがないとき
ERROR 2 : エラー発生時
PAUSE : 演奏一時停止時
NO MAG : CDチェンジャーのマガ
 ジンがないとき
DISC CHECK : ディスク診断中

基本の操作



電源を入れる

システムチェックについて…

電源を入れるとシステムチェックを開始しディスプレイに“SYSTEM CHK”を表示します。チェックを完了すると電源OFFの状態になりますので、[SRC]ボタンを押してください。

1 [SRC]ボタンを押す

→ラジオが再生されます。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

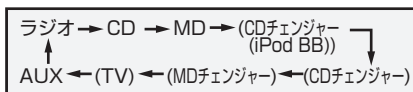
■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

ソースを選ぶ

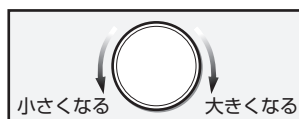
1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。()内は外部機器のソースです。iPod BB接続時は、「CDC1」と表示されます。



音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



⚠ 注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

重低音を増強する (マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは、低音を強調するマグナベースEXの自然な音質をおすすめします。

1 [A-M]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■ マグナベースEXをOFFするには…

もう一度、[A-M]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

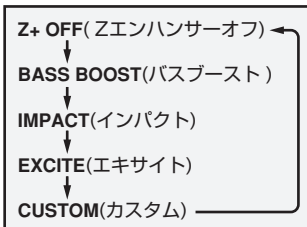
音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能)

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **BASS BOOST**：低音を強調
 - **IMPACT**：低音と高音を強調
 - **EXCITE**：低音と高音を更に強調
- ※初期設定は「Z+ OFF」です。

1 [Z-EHCR+]ボタンを押す

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



■カスタムについて(CUSTOM)...

カスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

「音質を調整する(バス/トレブル)」(21ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■Zエンハンサーオフについて(Z+ OFF)...

Zエンハンサーオフ(Z+ OFF)は、原音のままお聴きになりたいときにご使用ください。

時刻を合わせる

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 [D]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目名(CLOCK等)が表示されて、ディスプレイアジャストモードになります。

2 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、「CLOCK」を選ぶ

3 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

→時刻(「PM 1:15」等)が表示されて、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、時または分を選ぶ

- 点滅している項目を調整できます。

5 [VOLUME]ノブを回して、時刻を合わせる

6 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

→「ピー」と鳴って時刻が設定されます。

【ご注意】

点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう一度時刻合わせをしてください。

7 [D]ボタンを押して、元のモードに戻る

■電源OFF時に時計表示をON/OFFするには...

電源OFF時に、[D]ボタンを押してください。

表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える

1 [D]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

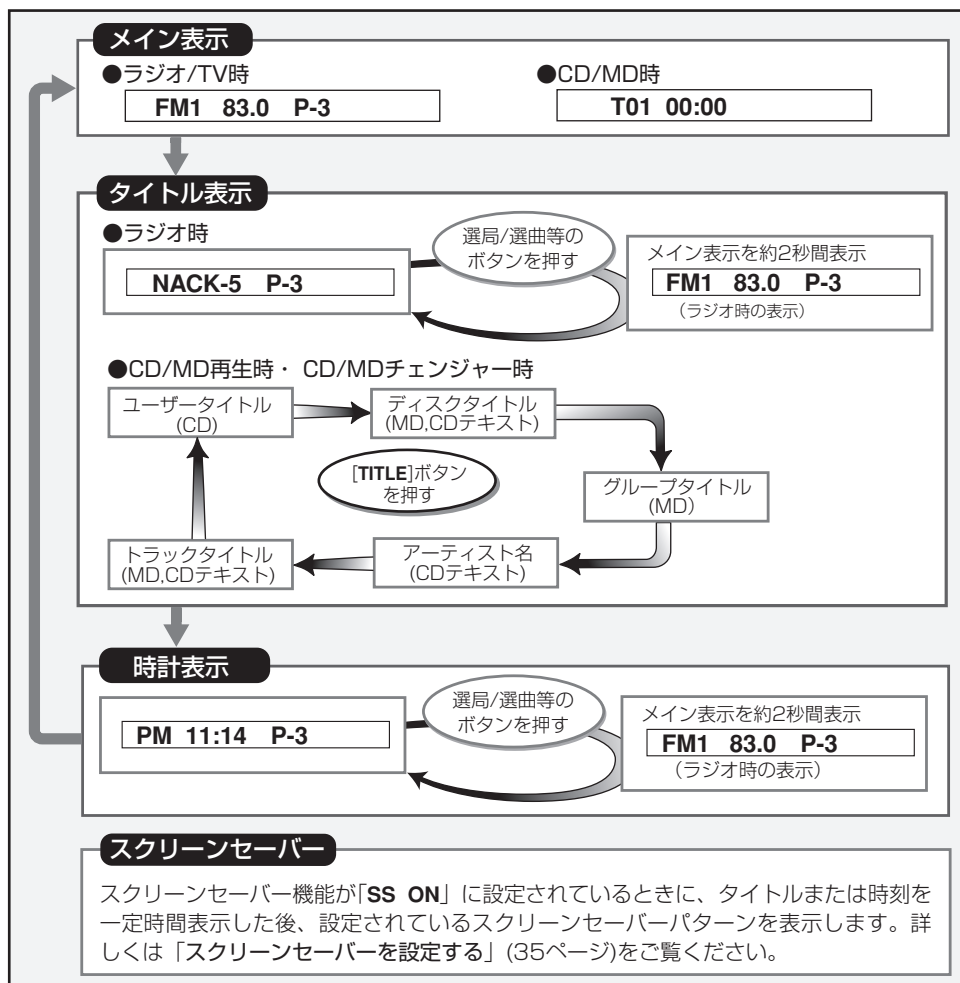
■**タイトル表示を切り換えるには…**
タイトル表示のときに、[TITLE]ボタンを押してください。

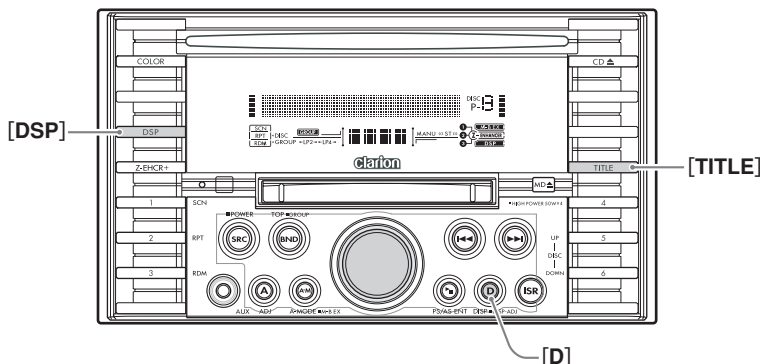
■ディスプレイ表示を消すには…

[D]ボタンを押し続けて(約4秒間)ください。

→ディスプレイの全ての表示が消えます。ディスプレイを消灯することにより、表示用のデータ送信等に起因したノイズを抑制し、音質を向上させることができます。

元の表示に戻すときは、[D]ボタンを押してください。





タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)」(35ページ)で選択したスクロール方法に従い表示します。

- 「ON」：自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「OFF」：タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)と1回スクロールします。

1 タイトルが表示されているときに、[TITLE]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトルが左にスクロールし、タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

ご注意

CDやCDチェンジャーで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。この状態で[TITLE]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

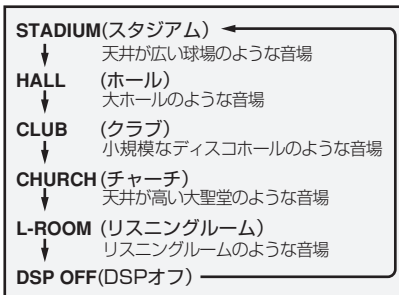
DSPメニューを選ぶ

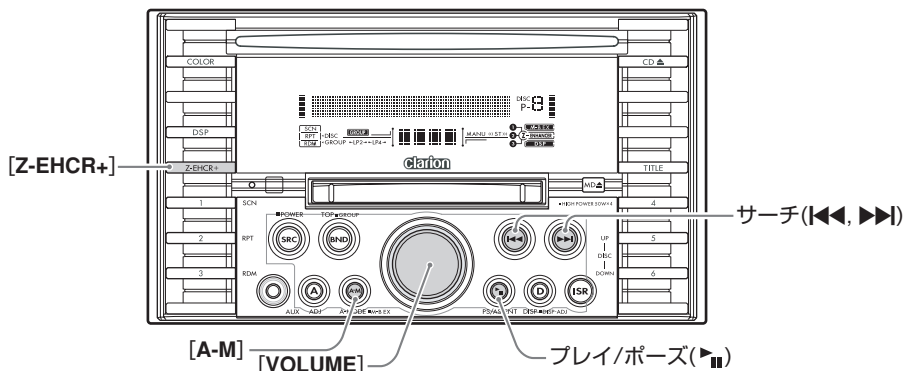
DSP(デジタルサウンドプロセッサー)は、デジタル信号の処理により、音を劣化させずにサウンド効果を車室内でシミュレーションしてお楽しみいただく機能です。

※初期設定は「STADIUM」です。

1 [DSP]ボタンを押す

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

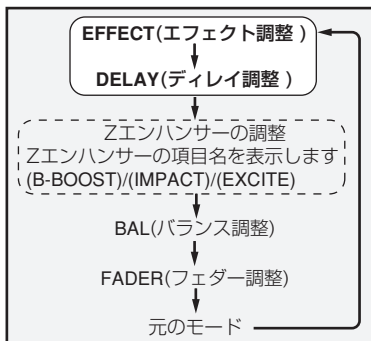




DSP効果を調整する

1 [A-M]ボタンを押して、調整項目を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して、エフェクト/ディレイタイムを調整する

ご注意

効果量を上げすぎると演奏本来の曲のイメージに影響を与える場合があります。

●エフェクトの調整(EFFECT)

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機は反射音の効果量を変えられます。

※DSP機能がONのときに調整できます。

・調整範囲は、0%~70%です。

●ディレイタイムの調整(DELAY)

ディレイタイムとは、直接音と反射音の時間差のことです。本機はこの時間差を調整することができます。

※DSP機能がONのときに調整できます。

・調整範囲は、10%~200%です。

3 [A-M]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

Zエンハンサー量を調整する

ご注意

Zエンハンサー機能が**BASS BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)のときに調整できます。

1 [A-M]ボタンを押して、Zエンハンサー調整項目(BASS BOOST / IMPACT / EXCITE)を選ぶ

→押すたびに、調整項目が切り換わります。

2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

・調整範囲は、-3~+3です。

3 [A-M]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

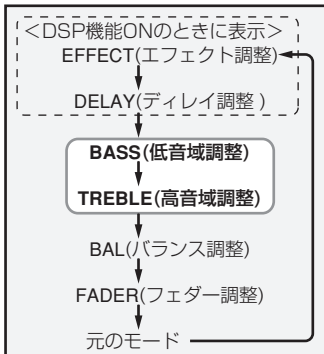
ご注意

- この機能は、Zエンハンサー機能がカスタム(CUSTOM)のときに設定できます。
- 7秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [Z-EHCR+]ボタンを押して、「CUSTOM」を選ぶ

2 [A-M] ボタンを押して、調整項目「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り換わります。



3 [VOLUME]ノブを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する

- BASS(低音域)/TREBLE(高音域)調整範囲は、-6~+6です。

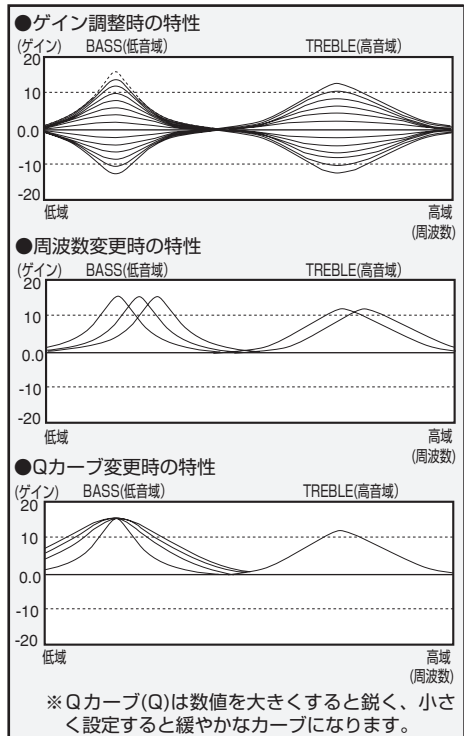
4 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ

5 [VOLUME]ノブを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(Qカーブ)を調整する

- **BASS**(低音域)
周波数(FREQ) : 60Hz, 100Hz, 200Hz
Qカーブ(Q) : 1, 1.25, 1.5, 2
- **TREBLE**(高音域)
周波数(FREQ) : 10KHz, 15kHz

6 [A-M]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

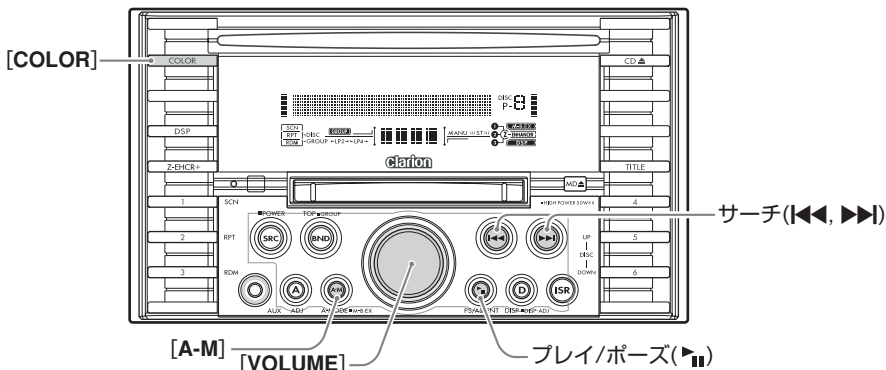
※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。



■カスタムの設定値を初期値に戻すには...

[Z-EHCR+]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

→「Z+ FLAT」を表示して、バス/トレブルの設定値が初期値に戻ります。



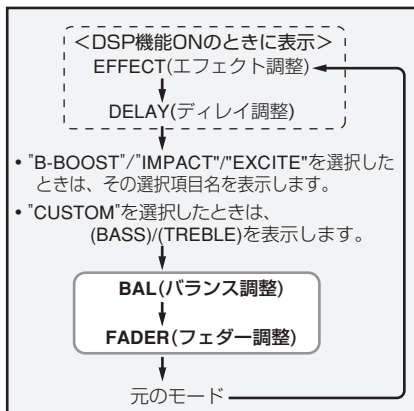
バランス/フェダーを調整する

ご注意

- ・7秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 [A-M]ボタンを押して、「BAL」または「FADER」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

●左右のスピーカー(バランス)の調整

調整範囲は、L13～R13です。
右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整

調整範囲は、F12～R12です。
右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

3 [A-M]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

パネルの照明色を設定する

お好みに合わせて、フロントパネルの照明色を変更することができます。

イルミネーションは、12色のプリセットカラーおよび、728色のカラー調整が可能です。お好みに合わせて表示色を選択してください。

※初期設定は「**COLOR SCAN**」です。

1 [COLOR]ボタンを押して、表示色を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



■ユーザーカラーを設定する

お好みに合わせて、フロントパネルの照明色を調整することができます。ユーザーカラーメモリーは3つまで登録できます。

1 [COLOR]ボタンを押して、ユーザーカラー(USER COLOR1/2/3)を選ぶ

2 [COLOR]ボタンを押し続ける(約1秒間)

3 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、調整項目(R, G, B)を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

4 [VOLUME]ノブを回して調整する

- ・調整範囲は、0～8です。
- ・“R” “G” “B”の設定値は、全てを「0」に設定できません。

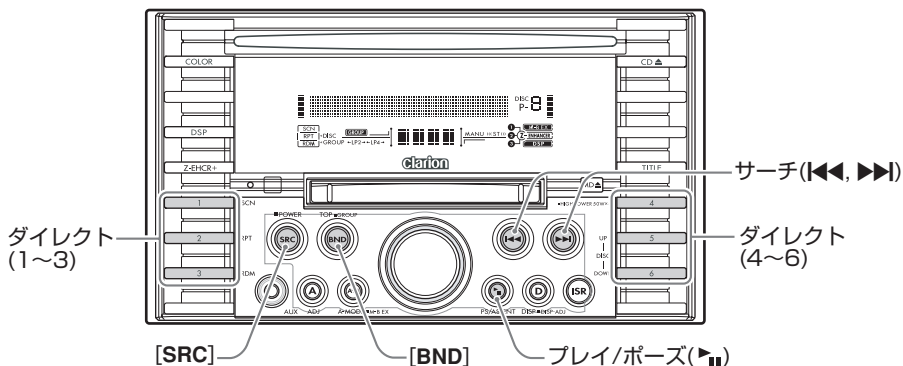
5 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**COLOR MEMO**」を表示し、ユーザーカラーをメモリーします。

■プリセットカラー(初期設定値)

カラー	R	G	B
Indigo Blue(インディゴブルー)	0	0	8
Surf Blue(サーフブルー)	0	4	8
Silky White(シルキーホワイト)	6	8	8
Aqua Green(アクアグリーン)	0	8	1
Fresh Green(フレッシュグリーン)	1	8	0
Leaf Green(リーフグリーン)	3	8	0
Moon Yellow(ムーンイエロー)	7	8	0
Warm Amber(ウォームアンバー)	8	2	0
Pale Orange(パールオレンジ)	8	1	0
Passion Red(パッションレッド)	8	0	0
Vivid Pink(ビビッドピンク)	8	0	3
Dark Violet(ダークバイオレット)	8	0	6
USER COLOR 1(ユーザーカラー-1)	8	8	8
USER COLOR 2(ユーザーカラー-2)	8	8	8
USER COLOR 3(ユーザーカラー-3)	8	8	8

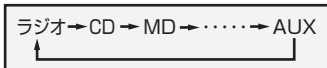
ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

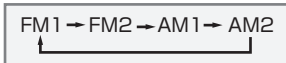
→押すたびに、次のように切り換わります。



受信バンドを切り換える

1 [BND]ボタンを押して、FM1、FM2
またはAM1、AM2を選ぶ

→バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。



自動メモリーする(オートストア機能)

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける
(約2秒間)

→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセット No.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1~6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクト(1～6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに放送局とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクト(1～6)ボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたいダイレクト(1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→押し続けると「ピー」となり、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

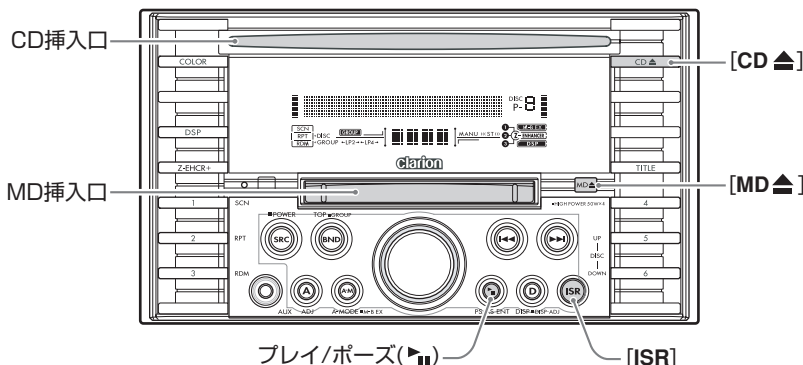
1 「MANU」が消灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることが出来ます。



放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に約7秒間ずつ受信します。

1 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

→タイトル表示部に「**PRESET SCN**」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)とオートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押してください。

→押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)は、どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています

1 [ISR]ボタンを押す

→初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数「**AM 1620**」を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

■ 元のソースに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンを押してください。

■ ISRメモリーに登録するには…

登録したい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続け(約2秒間)てください。

→ISRメモリーに登録されます。

CD/MDを聴く

ディスクを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠ 注意

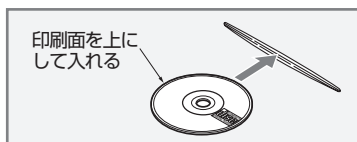
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

CDの場合

1 CD挿入口にCDを入れる

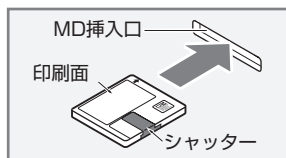


→CDを入れると、演奏が始まります。

-  マークのないCDやCD-ROMは、使用できません。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- ブランクディスク(未録音 CD-R)を入れた場合、ディスクをイジェクトします。
- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

MDの場合

1 MD挿入口にMDを入れる



→MDを入れると、グループ機能有無を確認した後、演奏が始まります。
グループ機能有無の確認中は「**GROUP READ**」と表示されます。

- 本機は  マーク表示の無いMDは使用できません。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。
- ブランクディスク(未録音 MD)を入れた場合、MDをイジェクトします。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDまたはMDを取り出すことができます。

- イジェクトされたディスクは、必ず取り出してください。

CDの場合

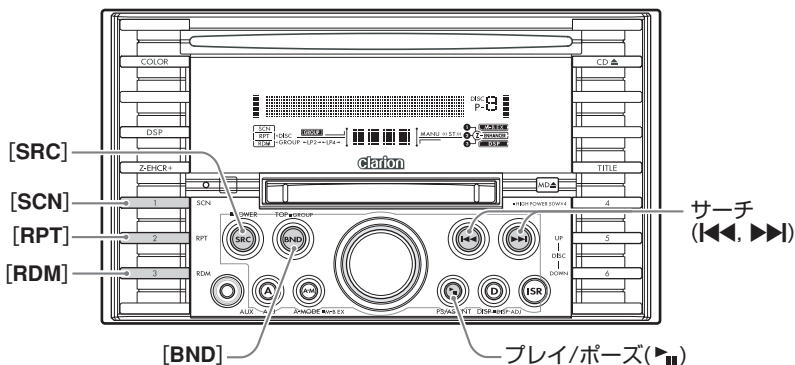
1 [CD ▲]ボタンを押す

→CDがイジェクトされます。

- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード機能)
- シングルCDの場合はオートリロードされません。

ご注意

オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。



■MDの場合

1 [MD ▲]ボタンを押す

→MDがイジェクトされます。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CDまたはMDを選ぶ

→CDまたはMDになると、自動的に演奏が始まります。

ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

ラジオ→CD→MD→……→AUX

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの[▶▶]を押す

前の曲を聴くときはサーチボタンの[◀◀]を2回押す

→[▶▶]を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

[◀◀]を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときに[◀◀]を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止する)

1 プレイ/ポーズ(⏮)ボタンを押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには...
もう一度、プレイ/ポーズ(⏮)ボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの[▶▶]を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの[◀◀]を押し続ける

最初の曲から聴く(トップ機能)

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 [BND]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

いろいろな演奏 (スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押す

→ディスプレイの「SCN」が点灯して、スキャン演奏をします。

・スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押す

→ディスプレイの「RPT」が点灯して、リピート演奏をします。

■ ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押す

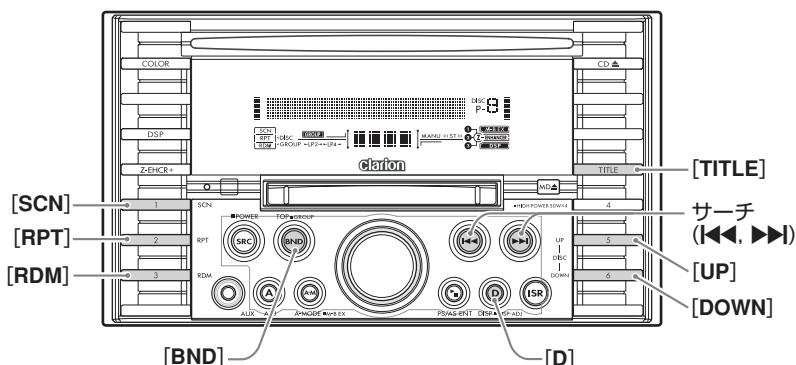
→ディスプレイの「RDM」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ 演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

グループ編集MDを聴く



グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…

グループ機能をONにして、グループ編集MDを再生すると、グループ別の再生が可能となり、チェンジャーのような感覚で操作することができます。

※初期設定は、「**GROUP ON**」です。

1 グループ編集MDを入れる

2 [BND]ボタンを押し続けて(約1秒間) ON/OFFを切り換える

- グループ機能ONのとき、「**(GROUP)**」が点灯します。
- 通常のMDでは、グループ機能のON/OFFはできません。
- グループ機能ONのときは、グループを優先して演奏し、グループ化されていない曲は最後にまとめて演奏します。

■グループ機能OFFのとき…

通常のMDと同様にトラックNO.の順に演奏します。

グループを切り換える

1 次のグループの曲を聴くときは、[UP]ボタンを押す

前のグループの曲を聴くときは、[DOWN]ボタンを押す

■曲を選ぶには…

サーチ(◀▶)ボタンを押してください。

いろいろな演奏(グループスキャン/グループリピート/グループランダム)

■聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループ編集MD全グループの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀ GROUP」と「SCN」が点灯して、グループスキャン演奏をします。

- グループスキャン演奏は、演奏しているグループの次のグループからはじまります。

■1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀ GROUP」と「RPT」が点灯して、グループリピート演奏をします。

■全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)

グループ編集MDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀ GROUP」と「RDM」が点灯して、グループランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオ/TVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャー時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

・ラジオ	: 30タイトル
・TV	: 20タイトル
・CD	: 50タイトル
・CDチェンジャー DCZ625	: 100タイトル

1 ラジオ/TVの場合は、チューナーまたはTVエリアを「USER TITLE」に設定する

・ラジオ/TVのエリアを「USER TITLE」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(37ページ)、「TVエリアを設定する」(37ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 [D]ボタンを押して、タイトル表示にする

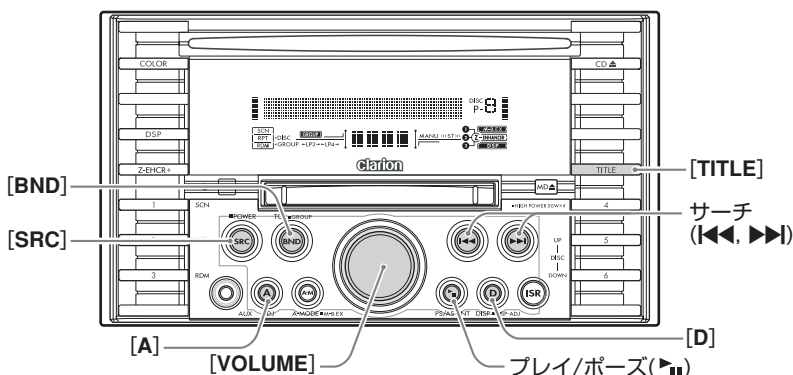
・CD、CDチェンジャーの場合は、[TITLE]ボタンを押してユーザータイトルに切り換えてください。詳しくは「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(18ページ)をご覧ください。

4 [TITLE]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力モードになります。

※次ページの手順5～7を繰り返して文字を入力します。

次ページに続く>>



5 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、入力位置を決める

→点滅している入力位置が左右に移動します。

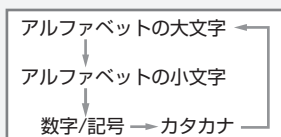
・入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 [BND]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。



入力文字種類

- ・アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- ・アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- ・数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? * \$ % & + - / = () < > " #
- ・カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタツット
ナニヌノハヒフヘホマミムメモヤユラリ
ルレロワランアイウエオツヤユヨ・・・「」

7 [VOLUME]ノブを回して、入力文字を決める

8 入力を終わたら、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「TITLE MEMO」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■タイトルメモリーがいっぱいになると…

・ラジオ局タイトルの場合

プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

・ディスクタイトルの場合

演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

イージーインプットをする

イージーインプットについて…

本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「**USER TITLE**」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

- 1 **[SRC]**ボタンを押して、ラジオまたはTVにする
- 2 **[A]**ボタンを押して、アジャストモードにする
- 3 サーチ(**◀◀**, **▶▶**)ボタンを押して、「**TUN AREA** **E**」または「**TV AREA** **E**」を選ぶ
- 4 プレイ/ポーズ(**⏮**)ボタンを押す
- 5 **[VOLUME]**ノブを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ
 - ・受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する」(37ページ)「TVエリアを設定する」(37ページ)をご覧ください。
- 6 プレイ/ポーズ(**⏮**)ボタンを押し続ける(約2秒間)
- 7 **[A]**ボタンを押して、元のモードに戻る

タイトルを削除する

- 1 **[SRC]**ボタンを押して、ソースを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)
- 2 削除したいタイトルの放送局を受信するまたはCDを演奏する
- 3 **[D]**ボタンを押して、タイトル表示にする
- 4 **[TITLE]**ボタンを押し続ける(約1秒間)

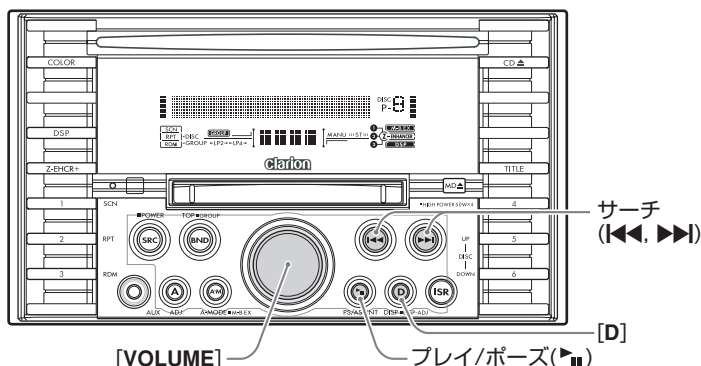
→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力表示になります。

- 5 **[BND]**ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトルが消えます。
- 6 プレイ/ポーズ(**⏮**)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトルが削除されます。

設定を変更する(アジャストモード)



ディスプレイ設定の選びかた

1 [D]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」等を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。

2 サーチ(◀▶)ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

- 設定項目に「**E**」表示があるときは、プレイ/ポーズ(▶◻▶)ボタンを押して調整内容を表示します。

3 [VOLUME]ノブを回して設定する

■設定を終えたら…

[D]ボタンを押し続け(約1秒間)てください。

- プレイ/ポーズ(▶◻▶)ボタンを押して調整内容を表示させたときは、プレイ/ポーズ(▶◻▶)ボタンを押した後、[D]ボタンを押し続け(約1秒間)てください。



次項の設定項目では、項目の選びかた、終わりがたを省略してします。よく理解して次へお進みください。

スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)

2種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

※初期設定は、「SS ON」です。

- 1 『ディスプレイ設定の選びかた』の手順で「SCRN SVR」を選ぶ
- 2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す
- 3 [VOLUME]ノブを回して設定する
 - SS ON : 表示します。
 - SS OFF : 表示しません。

メッセージを入力する (MSG INPUT)

本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができ、この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

※初期設定は、「Welcome to clarion」です。

- 1 『ディスプレイ設定の選びかた』の手順で「MSG INPUT」を選ぶ
- 2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して、メッセージ入力にする
 - 「タイトル入力をする」(32ページ)の手順5～7を繰り返して、メッセージを入力します。
- 3 メッセージ入力を終わったら、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「MSG MEMORY」を表示してメモリーします。

※入力の途中でプレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押したときは、メッセージ入力モードをキャンセルし、元の状態に戻ります。

タイトルスクロール方法を設定する (AUTO SCRL)

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 『ディスプレイ設定の選びかた』の手順で「AUTO SCRL」を選ぶ
- 2 [VOLUME]ノブを回して設定する
 - ON : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
 - OFF : [TITLE]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、1回のみスクロールします。

ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

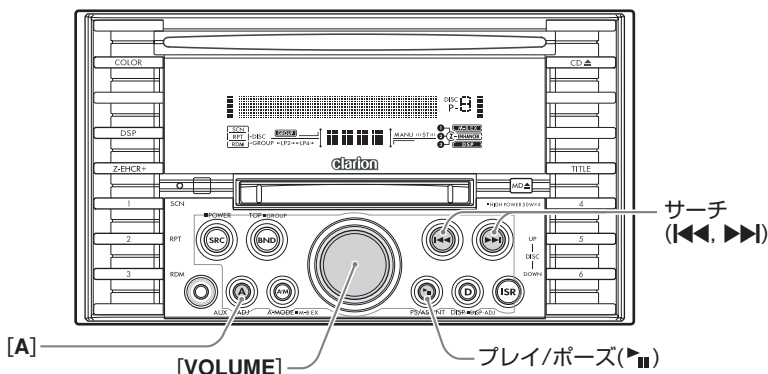
車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイと操作ボタンの照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

照明の減光時、照明色によっては若干色調が変化する場合があります。

- 1 『ディスプレイ設定の選びかた』の手順で「DIMMER」を選ぶ
- 2 [VOLUME]ノブを回して設定する
 - ON : 車のイルミネーションに連動して、ディスプレイと操作ボタンの照明を減光します。
 - OFF : 連動しません。

設定を変更する(アジャストモード)



その他設定の選びかた

1 [A]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「BEEP」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチ(◀▶)ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、設定項目が次のように切り換わります。

- 設定項目に「E」表示があるときは、プレイ/ポーズ(⏮⏭)ボタンを押して調整内容を表示します。

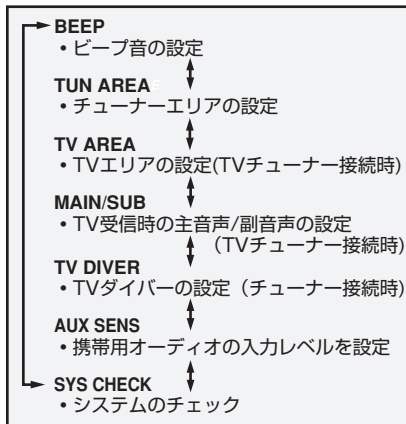
3 [VOLUME]ノブを回して設定する

■設定を終えたら…

[A]ボタンを押してください。

- プレイ/ポーズ(⏮⏭)ボタンを押して調整内容を表示させたときは、プレイ/ポーズ(⏮⏭)ボタンを押した後、[A]ボ

タンを押してください。



次項の設定項目では、項目の選びかた、終わりがたを省略してします。よく理解して次へお進みください。

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『その他設定の選びかた』の手順で「BEEP」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- ON : ビープ音が鳴ります。
- OFF : ビープ音が鳴りません。

チューナーエリアを設定する (TUN AREA)

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(31ページ)をご覧ください。

■**イージーインプット機能について**
チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)と、選択したチューナーエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。詳しくは33ページをご覧ください。

- 1 『その他設定の選びかた』の手順で「**TUN AREA**」を選ぶ
- 2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して、エリア設定を表示する
- 3 [**VOLUME**]ノブを回して、エリアを選択する

●エリア表示名

• USER TITLE (タイトル入力された放送局名)
• ホッカイドウ(北海道)
• トウホク(東北)
• コウイキ カントウ(広域 関東)
• コウイキ トウカイ(広域 東海)
• ホクリク(北陸)
• キンキ(近畿)
• チュウゴク(中国)
• シコク(四国)
• キュウシュウ(九州)
• オキナワ(沖縄)

- 4 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して確定する

TVエリアを設定する (TV AREA)

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

※初期設定は、「カントウ」(関東)です。

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(31ページ)をご覧ください。

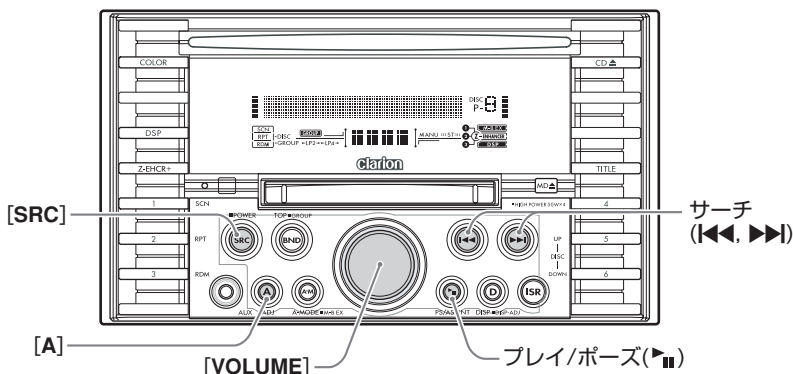
■**イージーインプット機能について**
テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)と、選択したテレビエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。詳しくは33ページをご覧ください。

- 1 『その他設定の選びかた』の手順で「**TV AREA**」を選ぶ
- 2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して、エリア設定を表示する
- 3 [**VOLUME**]ノブを回して、エリアを選択する

●エリア表示名

• USER TITLE (タイトル入力された放送局名)	
• サッポロ(札幌)	• トウホクA(東北A)
• センダイ(仙台)	• トウホクB(東北B)
• フクシマ(福島)	• シンエツ(信越)
• カントウ(関東)	• シズオカ(静岡)
• トウカイチュウブ(東海中部)	
• ホクリク(北陸)	• キンキ(近畿)
• サンイン(山陰)	• オカヤマ(岡山)
• サンヨウ(山陽)	• シコクA(四国A)
• シコクB(四国B)	
• キュウシュウA(九州A)	
• キュウシュウB(九州B)	
• キュウシュウC(九州C)	
• カゴシマ(鹿児島)	• オキナワ(沖縄)

- 4 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して確定する



TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。(TVチューナー接続時)
※初期設定は、「TV MAIN」です。

1 『その他設定の選びかた』の手順で「MAIN/SUB」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **TV MAIN** : 主音声を再生します。
- **TV SUB** : 副音声を再生します。

TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)
※初期設定は、「ON」です。

TVダイバーシティアンテナを使用していないときはOFFに設定し直してください。

1 『その他設定の選びかた』の手順で「TV DIVER」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **ON** : 使用する。
- **OFF** : 使用しない。

携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

本機に接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定します。
※初期設定は、「MID」です。

1 『その他設定の選びかた』の手順で「AUX SENS」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して設定する

- **LOW** : 入力レベルが低いとき
- **MID** : 通常レベルのとき
- **HIGH** : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき

システムをチェックする(SYS CHECK)

マニュアルでシステムをチェックします。

1 『その他設定の選びかた』の手順で「SYS CHECK」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックを開始し、チェックを完了すると、元のソースに戻って再生をはじめます。

CD/MDチェンジャー/iPod BBを操作する

<チェンジャー/iPod BB の操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MDを聴く」(28～29ページ)をご覧ください。

CD/MDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCD/MDチェンジャーを接続すると、本機でCD/MDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

iPod BB(CeNET iPodインター フェイスボックス ; EA-1251A)に ついて…

iPod BBはiPodを接続して6枚CDチェンジャーと同様に操作が可能です。

- iPod BBにiPodを接続すると、接続後の操作はセンターユニット側で行ないます。
- センターユニットで操作できる機能は、iPodのもつ機能の一部だけとなります。
- iPod BBで使用できるiPodは、次のバージョン対応のモデルです。
 - …iPod第3世代ソフトウェアVer. 2.2以上
 - …iPod第4世代ソフトウェアVer. 3.0.1以上
 - …iPod miniソフトウェアVer. 1.2以上
 - …iPod photo (画像は表示できません)

※iPodのソフトウェアバージョン(Ver)は、iPodの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- iPod BBではスキャン演奏はできません。
- 6枚CDチェンジャーと同様に操作するには、事前に本機が認識できるファイル名でプレイリストを作成しておく必要があります。

• iPod BBとCDチェンジャーを接続したときは、CDチェンジャー側面にあるアドレススイッチを「2」に設定してください。

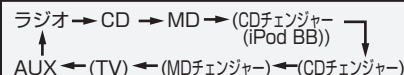
• その他の注意事項等については、iPod BBの操作説明書をご覧ください。

チェンジャー/iPod BBを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→チェンジャーまたはiPod BBに切り替わると、自動的に演奏が始まります。

()内は外部機器のソースです。iPod BB接続時は、「CDC1」と表示されます。



■2台のCD (またはMD) チェン ジャーを接続したときは…

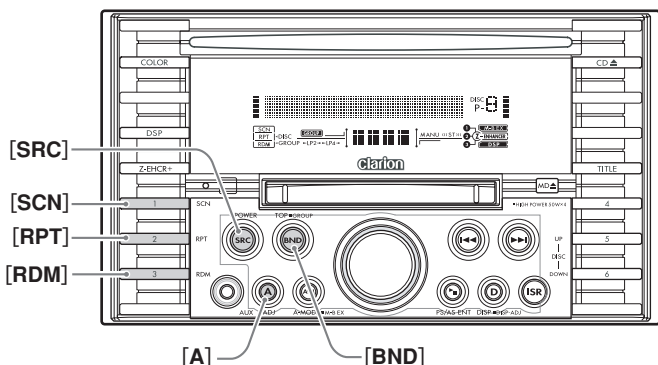
[SRC]ボタン押して、接続したチェンジャーを選択してください。

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。
- タイトル表示については、「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(18ページ)をご覧ください。

聴きたいディスクを選ぶ

1 前のディスクを聴くときは、[DOWN] ボタンを押す

次のディスクを聴くときは、[UP]ボタンを押す



いろいろな演奏(ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクリングランダム演奏)

■聴きたいディスクを探す (ディスクスキャン演奏)

チェンジャー内のディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀ DISC」と「SCN」が点灯して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

【ご注意】

- iPod BBではディスクスキャン演奏ができません。

■1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀ DISC」と「RPT」が点灯して、ディスクリピート演奏をします。

■全ディスクの演奏をランダムに聴く (ディスクリングランダム演奏)

チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀ DISC」と「RDM」が点灯して、ディスクリングランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

<TVの操作について>

次の操作はラジオと同様の操作です。

- 自動選局/手動選局/プリセット選局
- プリセットメモリー/自動メモリー(オートストア)
- プリセットスキャン

「ラジオを聴く」(24～26ページをご覧ください)。

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。



警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(38ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(37ページ)で受信エリアを設定してください。

TVを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。

受信バンドを切り換える

1 [BND]ボタンを押して、TV1またはTV2を選ぶ

→押すたびに、バンド(TV1 ↔ TV2)が切り換わります。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

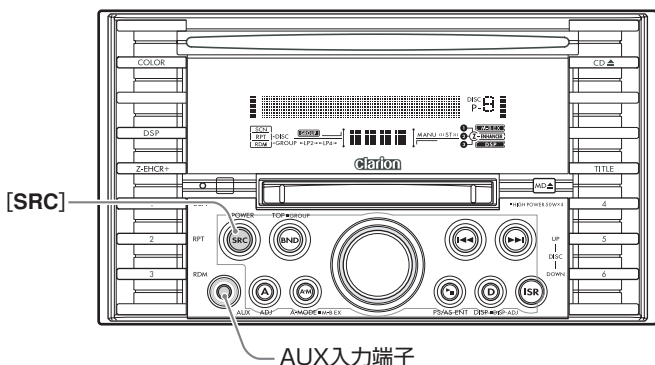
1 [A]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→TVからVTRに切り換わります。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■TVに戻すには…

もう一度、[A]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

その他の外部機器を操作する



携帯用オーディオを聴く(AUX)

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 [SRC]ボタンを押して、AUXを選ぶ

→押すたびに切り換わります。AUXになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

■音が割れる/音が小さいときには...

本機への入力レベルを調整してください。詳しくは、「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(38ページ)をご覧ください。

携帯用オーディオの接続のしかた

■AUX入力の接続のしかた

市販のステレオRCAミニピンケーブルを使用して、携帯用オーディオを本機正面パネルのAUX入力端子へ接続してください。

ご注意

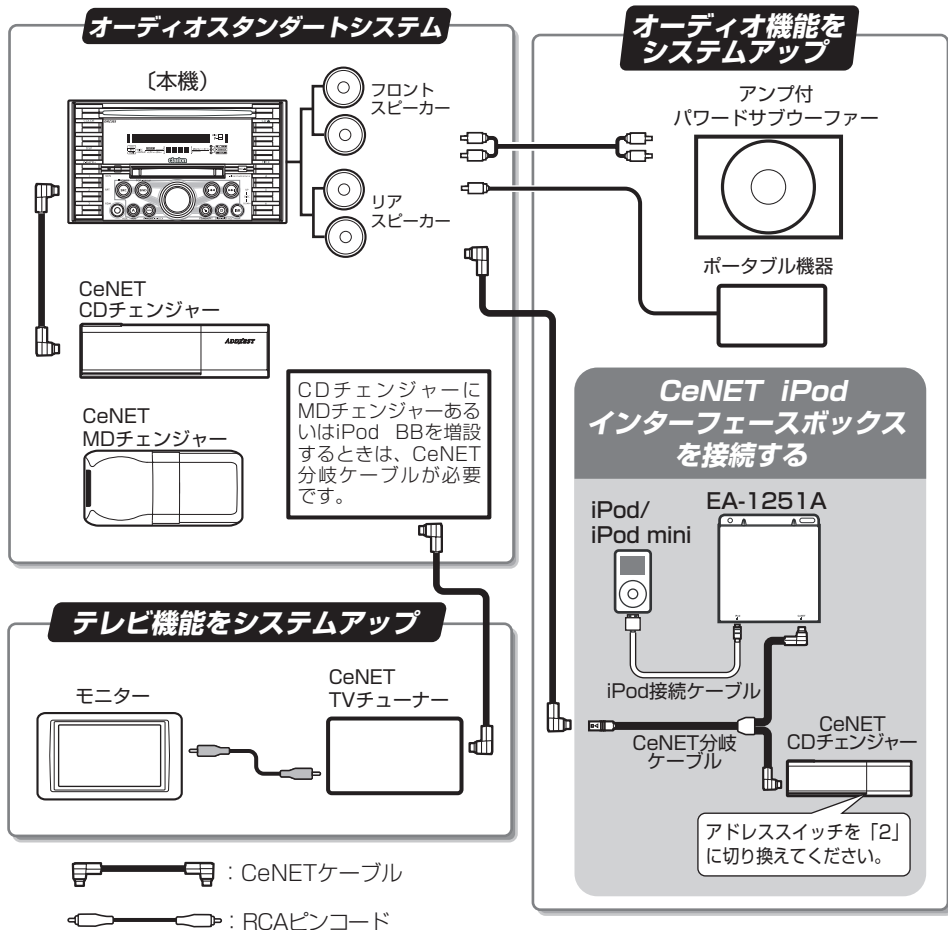
- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、携帯用オーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。
- ケーブルが機構部に巻き込まれないように、引き回しには十分ご注意ください。

システムアップについて

本機はCeNET結線対応の外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張ができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



その他

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、配線長が20mを越えないように注意してください。

- ・チェンジャー同梱のケーブル長…5m
- ・延長ケーブル(CCA-520)…2.5m
- ・分岐ケーブル(CCA-519)…1m
- ・延長ケーブル(CCA-521)…0.6m

故障かな？と思われたら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお試しください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています。	音量をもう少し絞ってお聞かせください。 再度、短時間で音が出なくなる場合は弊社修理相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
C D	自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
M D	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
その他	電源を入れた直後音質が悪い	湿気が多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出てしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
その他	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
C D	ERROR2	ディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	CDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
M D	ERROR2	MDメカが故障しているとき	MDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないとき	傷のないMDと交換してください。
	ERROR H	MDメカの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたとき	MDメカの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
C D / M D チェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のディスクがローディングできないとき	チェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
		MDチェンジャー内のメカが故障しているとき	
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたとき	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外エラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕 様

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
SN比 : 100dB
ダイナミックレンジ : 95dB
高調波ひずみ率 : 0.01%

■MDプレーヤー部

周波数特性 : 20Hz~20kHz
SN比 : 90dB
ダイナミックレンジ : 85dB
高調波ひずみ率 : 0.01%(1kHz)

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 9dBf
50dBクワイティング感度 : 15dBf
SN比 : 70dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 28dBμV
SN比 : 50dB

■AUX部

入力感度
LOW : 650mV(2V出力時)
MID : 1.3V(2V出力時)
HIGH : 2.0V(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 17W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)
最大出力 : 50W×4
適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)
2バンドEQ BASS(60/100/200Hz):±15dB
TREBLE(10k/15kHz) : ±12dB
マグナベースEX : +10dB(50Hz)
(音量ステップ 14)
ラインアウト出力レベル : 2.0V(CD1kHz)

■Zエンハンサープラス/DSP部

Zエンハンサープラス(5モード)
: BASS BOOST / IMPACT / EXCITE
CUSTOM / Z+ OFF
DSP(5モード)
: STADIUM / HALL / CLUB
CHURCH / L-ROOM / DSP OFF

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 3.0A(1W時)
ヒューズ定格 : 15A/3A
外形寸法 : 178(W)×100(H)×182.5(D)mm
(取付寸法 : 156.5(D)mm)
質量 : 2.2kg

■付属品

• 取扱説明書	1部
• 取付説明書	1部
• 修理相談窓口リスト	1部
• 保証書	1部
• 電源コード	1本
• セムス六角ボルト	8本
• サラネジ(M5×8)	8本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンス
コーポレーションの米国及び外国特許に
基づく許諾製品

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

なお、弊社サービスセンターから代替品(リンク品)を直接取り寄せる『ダイレクトエクスチェンジシステム』を取扱っている販売店がございます。

修理納期の短縮等、お客様にとって魅力あるサービスシステムとなっておりますので、販売店へご確認下さい。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。